

### 第3期秋田県医療費適正化計画の実績に関する評価（概要）

## 国 保 医 療 室

### 1. 実績評価の位置づけ

- 県では、住民の生活の質の維持及び向上を確保しつつ、今後医療費が過度に増大しないようにしていくとともに、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るため、平成30年3月に第3期秋田県医療費適正化計画（計画期間：平成30年度～令和5年度）を策定した。
- 昨年度をもって計画期間が終了したことに伴い、高齢者の医療の確保に関する法律第12条第1項の規定に基づき、計画の実績に関する評価を行うものである。（実績評価にあたっては、保険者協議会からの意見が必要となる。）

### 2. 目標の達成状況

#### （1）県民の健康の保持の推進関係

- 特定健康診査・特定保健指導の実施率、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率は目標値の達成まで至らなかったが、計画の始期である平成30年度から実績が判明している令和4年度までの動向を見ると、いずれの数値も増加傾向にある。
- その他の目標についても、数値目標を設定したものは達成まで至らなかったが、県民の健康の保持のため、引き続き各取組を進めていく必要がある。

#### ①特定健康診査の実施率

（単位：％）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標達成に必要な数値	50.0	54.0	58.0	62.0	66.0	70.0 （目標値）
実績値	49.8	51.7	48.9	53.5	53.4	今後公表予定

出典：厚生労働省「保険者別の特定健康診査・特定保健指導の実施状況」

#### ②特定保健指導の実施率

（単位：％）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標達成に必要な数値	24.0	28.0	32.0	36.0	40.0	45.0 （目標値）
実績値	24.6	21.9	27.5	28.3	27.7	今後公表予定

出典：厚生労働省「保険者別の特定健康診査・特定保健指導の実施状況」

③メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率（平成20年度比）

（単位：％）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標達成に必要な数値	15.0	17.0	19.0	21.0	23.0	25.0 （目標値）
実績値	11.0	10.1	12.1	14.3	16.8	今後公表予定

出典：厚生労働省「レセプト情報・特定健診等情報データ」

④習慣的に喫煙している者の割合

（単位：％）

喫煙率（男女別）	令和4年	目標値
男性	30.0	24.3
女性	7.9	6.6

出典：厚生労働省「国民生活基礎調査」

⑤がん検診受診率

（単位：％）

部位	令和4年度	目標値
胃	8.1	50.0
大腸	9.6	50.0
肺	6.7	50.0
子宮	12.7	50.0
乳	15.3	50.0

出典：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

⑥生活習慣病等の重症化予防の推進（数値目標なし）

推進する取組

- ・食生活の改善や運動習慣の定着等による生活習慣病等の一次予防。
- ・合併症の発症や症状の進展等への対策による重症化予防。

実際の取組

- ・秋田県健康づくり県民運動推進協議会を中心とした健康づくりに取り組む気運の醸成、秋田県版健康経営優良法人認定制度の普及促進による働き盛り世代の健康への意識改革・行動変容を促すための環境整備。
- ・糖尿病重症化予防に係る会議の開催、医師への研修会開催、モデル事業としてのICTを活用した保健指導事業の実施（令和4年度：大仙市、令和5年度：潟上市）

⑦予防接種の推進（数値目標なし）

推進する取組

- ・ 県ウェブサイト等による普及啓発やワクチン安定供給のための関係機関との協議。
- ・ 円滑な定期予防接種のための体制整備。

実際の取組

- ・ 県ウェブサイト等による地域住民への普及啓発。
- ・ 接種を希望する方が住民登録している市町村以外にある県内の医療機関でも円滑に定期予防接種を受けることができるよう、広域予防接種事業を実施。

（２）医療の効率的な提供の推進関係

- ・ 後発医薬品の使用割合については、令和元年度時点で目標を達成しており、その後も増加傾向にある。
- ・ 健康サポート薬局の届出件数については、目標達成まで至らなかったが、今後も周知を図ることで、県民への認知度の向上に努めていく。

①後発医薬品の使用割合

（単位：％）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標達成に必要な数値	70.0	75.0	80.0	80.0	80.0	80.0 （目標値）
実績値	78.6	81.5	83.3	83.3	85.0	今後公表予定

出典：厚生労働省「調剤医療費の動向」

②健康サポート薬局の届出件数

（単位：件）

年度	実績値	目標値
令和5年度	34	50

出典：厚生労働省「健康サポート薬局数」

3. 医療費推計と実績の比較・分析

- ・ 第3期秋田県医療費適正化計画では、医療費適正化に係る取組を行わない場合、平成30年度の推計医療費3,750億円から、令和5年度には3,969億円まで医療費が増加することが推計されており（適正化前）、医療費適正化に係る取組を行うことで、令和5年度の医療費は3,915億円になると推計されていた（適正化後）。
- ・ 令和4年度の医療費は3,730億円となっており、推計値（適正化後）との差異は▲143億円と、推計値よりも低い医療費となった。

- ・ 医療費が推計値より下回った要因は人口減少の影響があると考えられる一方、各目標を達成するための取組も医療費適正化の一助になったものとする。

医療費推計と実績の差異（単位：億円）

年度	①推計値（適正化前）	②推計値（適正化後）	③実績値	④推計値と実績値の差（③－②）
平成30年度	3,750	3,699	3,681	▲18
令和元年度	3,796	3,744	3,727	▲17
令和2年度	3,842	3,790	3,631	▲159
令和3年度	3,884	3,831	3,685	▲146
令和4年度	3,927	3,873	3,730	▲143
令和5年度（実績見込み）	3,969	3,915	今後公表予定	今後公表予定

出典：厚生労働省「レセプト情報・特定健診等情報データ」、「国民医療費」

#### 4. 今後の課題及び推進方策

##### （1）県民の健康の保持の推進

- ・ 特定健康診査実施率、特定保健指導実施率及びメタボリックシンドローム該当者及び予備群者の減少率は、それぞれ目標と実績との差異が大きいことから、実施率・減少率の向上に向けて、引き続き関係者の更なる取組をより一層促す必要がある。

##### （2）医療の効率的な提供の推進

- ・ 後発医薬品の使用割合を80%とする目標については達成されたものの、後発医薬品の使用促進について、引き続き関係者の更なる取組をより一層促す必要がある。

##### （3）今後の対応

- ・ （1）及び（2）に対応するため、県民の健康の保持の増進及び医療の効率的な提供の推進に向けた取組を加速する必要がある。健康寿命の延伸と健康格差縮小のための県民運動や食生活改善・運動、特定健康診査、特定保健指導の実施率向上及び効果的・効率的な実施のためのICT導入の検討や保健指導における好事例の横展開、がん検診受診率向上のための環境整備、後発医薬品及びバイオ後続品の効果的な活用のための啓発や関係機関との連携、医薬品の適正使用を推進するための県民の健康意識向上と医薬品の適正使用の啓発等に取り組む。
- ・ また、第4期医療費適正化計画においては、医療資源の投入量に地域差がある医療に関する取組や高齢者に多い症状への対策といった取組を新たに記載しており、このような取組の実施や進捗状況についての分析を行う。